

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 物理法則上回避不可能なハードウェアセキュリティ対策手法の開拓
2. 研究代表者： 林 優一（奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、新たな学術分野や社会サービス、破壊的イノベーションなどを創出するためのプラットフォームとなるセキュアな情報基盤を確立するために、情報システムを構成するハードウェアに統一的に適用可能な「攻撃者が物理法則上回避不可能な対策手法」の開発を目指すものである。フェーズ1では、目標とする漏洩、妨害、改変の脅威に対する対策技術の開発に成功し、国際的に高い評価を得ている。またパネル内での連携を通して、計測の高精度化に成功している。さらに「経済安全保証重要技術育成プログラム」の分担者として採択され、社会実装の取り組みを開始している。フェーズ2では、漏洩、妨害、改変の三つの脅威の組合せの対策技術の開発目標がたてられており具体的かつ挑戦的であると考えられ期待する。また想定外の脅威に対して配慮している点も評価できる。

以上